

定期報告(ウルグアイ内政・外交:2020年11月)

1 ポイント

【内政】

- 4日、ブスティージョ外務大臣はクスカシ統合メルコスール総局長の解任を発表。
- 16日、世論調査会社Equipos社がラカジェ・ポウ大統領支持率に関する調査結果を公表。
- 26～27日、県知事就任式。

【外交】

- 2日、アルヒモン副大統領(兼上院議長)が列国議会同盟(IPU)の執行委員に選出。
- 8日、ブスティージョ外務大臣は、アラマン・チリ外務大臣及びゴンサレス・パラグアイ外務大臣とそれぞれ会合を実施。
- 16日、国防省は中国政府から400万米ドル相当の軍事装備品の寄付を受領。
- 19日、ラカジェ・ポウ大統領はフェルナンデス亜大統領と会合を実施。
- 20日、ウルグアイ・メキシコ・FTA第3追加議定書署名。
- 28日、ブスティージョ外務大臣はゴンサレス西外務大臣と会合を実施。

2 本文

【内政】

1 クスカシ外務省統合メルコスール総局長の解任

4日、ブスティージョ外務大臣はバレリア・クスカシ統合メルコスール総局長を解任し、エンリケ・デルガド・ヘンタ氏を任命した。同氏は、以前統合メルコスール総局長を務め、外務省事務総局長、外交官学校長の他、エルサルバドル、ニカラグア、カナダ、メキシコ、エクアドル及びロシアでウルグアイ大使を務めた経歴を持つ。同外務大臣とデルガド新統合メルコスール総局長は旧知の仲であり、任命前には同大臣顧問への起用が予想されていた。

2 ラカジェ・ポウ大統領の支持率調査結果

16日、当地世論調査機関であるEquipos社がラカジェ・ポウ大統領への支持率に関する調査結果を公表した。今次調査は2020年10月30日から11月4日まで、18歳以上の国内居住者を対象に携帯電話及びオンラインアンケートにて実施された。今次調査結果はこれまでの調査結果と類似しており、9月下旬に実施した前回調査結果と比較すると、ラカジェ・ポウ大統領への支持率は3%上昇し、他方で不支持率も2%上昇した。

「あなたはラカジェ・ポウ大統領を支持しますか」との質問に対して得られた回答は次のとおり。

- (1) 支持する: 60%
- (2) 支持しない: 20%
- (3) 支持でも不支持でもない: 18%
- (4) 分からない・無回答: 2%

Equipos社は、大統領への支持率は年間を通じて非常に安定しており、高いレベルの支持率を有していると評価。新型コロナウイルス感染症拡大の状況下における政府の業績は、持続的で高い支持率の背景にある主な要因の1つであるが、それだけではなく、治安対策や、パンデミックの状況下での政府による社会的支援等、他のいくつかの分野でも政府は申し分のない評価を受けていると指摘。また、連立与党は初年度において、いくつかの政治的議題の主要項目(緊急検討法の承認、予算法案の議会提出等)を進展させ、これまで世論から大きな摩擦を被ることなく様々な性質の内部混乱に対処したと評価した。

3 県知事就任式

26日から27日にかけて、全国の県知事及び市長就任式が実施された。新型コロナウイルス感染症拡大のため、各就任式は従来よりも規模を縮小して行われた。ラカジェ・ポウ大統領は26日にカネロネス県知事、リベラ県知事、ベジャ・ウニオン市長の就任式に出席し、27日にはサン・カルロス市長、ロチャ県知事、トレインタ・イトレス県知事の就任式にそれぞれ出席した。

モンテビデオ県知事に就任したコッセ県知事は、主に衛生環境の改善、公共交通の充実、雇用環境の改善の3つの問題に取り組む旨述べた。

【外交】

1 アルヒモン副大統領の列国議会同盟(IPU)執行委員当選

2日、列国議会同盟(IPU)第206回評議員会で、上院議長であるアルヒモン副大統領が2020年から2024年の期間、ラテンアメリカ及びカリブ海諸国の代表としてIPU執行委員に選出された。同副大統領はラテンアメリカ及びカリブ海地域グループ(GRULAC)の加盟国により擁立された。同執行委員会は15名の代表で構成されている。今次会合でIPUは新議長の選出及び執行委員会の欠員補充を行う必要があった。

2 ブスティージョ外務大臣のボリビア訪問

8日、アルセ・ボリビア新大統領就任式出席のためボリビアを訪問したブスティージョ外務大臣は、アラマン・チリ外務大臣及びゴンサレス・パラグアイ外務大臣とそれぞれ会合を実施した。同会合では二国間案件及び地域・全世界的なテーマが取り上げられた。

ブスティージョ外務大臣は、フェルナンデス亜大統領の誘いを受け、亜政府がレンタルしたプライベートジェットでボリビアを訪問した。ボリビア公式訪問中、同外務大臣はアルゼンチン代表团とは別の日程で動き、ラパス市で開催される大統領就任式関連の行事終了後は同市から商用便で帰国した。

アルセ・ボリビア新大統領の就任式にラカジェ・ポウ大統領が出席しなかったことについて、一部の野党議員は、ウルグアイは現在メルコスール議長国を務めており、ボリビアはメルコスール正加盟国として加盟手続き中である点を指摘。ラカジェ・ポウ大統領のボリビア大統領就任式への出席は、民主主義回復のプロセスにあるボリビア新政権に対する支持を示す良い機会となっていたらろうとして、ラカジェ・ポウ大統領が同就任式に出席しなかったことを批判した。

3 中国政府から400万米ドル相当の軍事装備品の寄付

16日、国防省は中国政府から防弾ベストやヘルメット、暗視装置、軍用無線機など400万米ドル相当の軍事装備品の寄付を受け取った旨発表した。同寄付は王剛駐ウルグアイ中国大使からガルシア国防大臣に手交された。同国防大臣は、これらの装備品は国境警備等に役立てられる旨述べた。

4 ラカジェ・ポウ大統領とフェルナンデス亜大統領の会合

19日、ラカジェ・ポウ大統領はコロニア県アンチョレナの大統領別邸でフェルナンデス亜大統領と会合した。ラカジェ・ポウ大統領就任以来、対面式としては初となる両首脳会合にブスティージョ外務大臣及びイリバルネ駐ウルグアイ亜大使が同席した。フェルナンデス亜大統領は亜連邦警察のヘリコプターでウルグアイに到着し、コロニア県アンチョレナの大統領別邸で行われた同会合は約4時間に及んだ。

ラカジェ・ポウ大統領は、フェルナンデス亜大統領との会合の詳細については明らかにせず、二国間及び地域のあらゆる議題について広く議論したと述べるにとどめたが、両大統領共に非常に良い会合であったと述べた。同席したブスティージョ外務大臣は、同会合では二

国間及び地域の議題について議論されたが、同昼食会は非公式であり、実際にはどの問題についても具体的な決定はなかった旨主張した。

両首脳はメルコスール・EU・FTA署名の早期実現を主な目標とするメルコスールの情勢についても議論した。また、両首脳が異なる立場を有している中国及び米国との協定模索の可能性についても意見交換が行われた。

5 ウルグアイ・メキシコFTA第3追加議定書の署名

20日、ロカノバ・ラテンアメリカ統合連合(ALADI)及びメルコスール・ウルグアイ常駐代表とバルセロ在ウルグアイ・メキシコ大使は、ウルグアイ・メキシコ・FTAの第3追加議定書に署名した。同署名は長い交渉プロセスの集大成であり、2004年のFTA発効以来未解決となっていたサービス及び投資の越境取引に関する章の留保と例外を調整するもの。交渉プロセスは外務省が経済財務省及び対応するメキシコ省庁と共に主導し、両国がFTAの枠組みでサービス及び投資のネガティブリスト(原則として規制がない中、例外とする措置や分野のみをリスト化したもの)を交渉したのは初めて。

6 子どもの権利委員会にルイス・ペデルネラ氏が再選

24日、米国ニューヨークで開催された第18回子どもの権利条約締約国会議の枠組みの中で、ウルグアイ人候補者のルイス・エルネスト・ペデルネラ氏が2021年から2025年の期間の子どもの権利委員会委員に再選した。同氏は2017年に委員会に参加し、本年5月には委員長に選出。さらに7月からは第32回人権条約機関の議長会議の議長を務めている。

7 ブスティージョ外務大臣とゴンサレス西外務大臣の会合

28日、ブスティージョ外務大臣はマドリードでゴンサレス西外務大臣と会合した。両外務大臣は優れた二国間関係を見直し、関係強化の継続における双方の関心を確認した他、スペイン・ウルグアイ間のハイレベル訪問継続の重要性を強調し、状況が改善次第、ラカジェ・ポウ大統領の訪西を調整する旨合意した。メルコスール・EU・FTAに関して、両外務大臣は、それぞれのブロックで進行中の交渉を支援し、早急に交渉プロセスを終えることの重要性について一致した他、様々な地域の問題について協議し、イベロアメリカの協力を深め、2021年4月にアンドラで開催され、パンデミック後の加盟国の回復が中心的な議題の1つとなる次回イベロアメリカ首脳会議の成功に向け引き続き取り組む旨再確認した。また、両大臣はベネズエラの政治的及び人道的危機に深い懸念を表明した。

【要人往来】

○往訪

●6日～9日、ブスティージョ外務大臣のボリビア訪問(ボリビア大統領就任式出席)

●25日～、ブスティージョ外務大臣のEU及びロシア訪問

○来訪

●19日、フェルナンデス亜大統領